学校番号	111

令和２年度　地理歴史科

教科	地理歴史科	科目	世界史Ｂ	単位数	４単位	年次	３年次
使用教科書	新詳「世界史Ｂ」　（帝国書院）						
副教材等	帝国書院（発行）「明解世界史図説　エスカリエ　十訂版」（帝国書院）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・事象を暗記するのではなく、流れとして理解する。
・事象の因果関係を意識して学習する。
・現在とこれからの世界を認識する上で、先人達の経験＝歴史を学習して指標とする。
・歴史を背景とした世界の国の諸事情を踏まえ、現在の日本の在り方を考える。

２　学習の到達目標

・世界の歴史を地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、 国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。
・歴史的事象の因果関係を理解する。
・絵画や地図などの諸資料から、歴史的思考力を培う。
・現在の事象を歴史的事象から理解する。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	世界の歴史に対する関心と課題意識を高め、意欲を持って学習に取り組むとともに、自ら歴史的事象を調べるなど主体的な学習活動を目指す。	現代世界の諸問題を歴史的に考察し、事象を多角的な視点からとらえて公正に判断することができる。	世界史に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったりまとめたりすることができる。	過去から現在まで続く文化・宗教などを知識として歴史的に把握し、それらを多角的にとらえて理解することができる。
評価方法	主題学習 調べ学習のまとめレポート 定期考査	主題学習 定期考査 まとめレポート	主題学習 定期考査 休暇中課題	主題学習 定期考査 まとめレポート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1	文明と地域世界の形成	・西アジア世界・地中海世界の形成 ・南アジア・東南アジア・東アジア・内陸アジア世界の形成 ・イスラーム世界の形成と拡大	○	○ ○	○	○ ○ ○	a:設定された主題を意欲的に考察し、文明発祥についての関心を高める。 b:宗教や民族に関して多角的な視点でとらえ、公正に判断することができる。 c:文字資料が豊富な地域と豊富でない地域のそれぞれの資料を収集し、有用な情報を選択して読み取ることができる。 d:主要な地域の歴史だけでなく、周辺史に対する知識を把握し、かつ周辺と中核を多角的にとらえて理解することができる。	定期考査 まとめレポート
2	諸地域の交流と再編	・ヨーロッパ世界の形成と変動 ・アジア諸地域世界の繁栄と成熟 ・ヨーロッパの拡大と大西洋世界 ・産業社会と国民国家の形成 ・世界市場の形成とアジア諸国	○ ○ ○	 ○ ○ ○	○ ○	○ ○ ○ ○	a:設定された主題を意欲的に考察し、ヨーロッパではキリスト教、東アジア世界では儒教、大西洋世界では世界の一体化について関心を高める。産業社会と国民国家の形成と、世界市場の形成とアジア諸国に関しては、世界史Aを踏まえる。 b:現代につながる諸問題を歴史的に考察し、事象を多角的な視点からとらえる。 c:絵画資料や食物の発祥・流通などの諸資料を収集して有用な情報を選択し、読み取ることができる。 d:文化・宗教を中心に知識として歴史的に把握し、世界史Aを踏まえた理解を深める。	定期考査 まとめレポート

3	地球世界の形成	・世界の分割 ・二つの世界大戦 ・戦後世界の形成と変容	 ○ ○	○ ○	 ○ 	 ○	a:設定された主題を意欲的に考察し、現代と直接関わる事象に関心を高める。 b:現代に直接つながる諸問題を歴史的に考察し、マイノリティーの歴史も含めて公正にとらえ、判断することができる。 c:映像資料などから有用な情報を選択し、読み取ることができる。 d:世界史 A を踏まえた理解を深め、資本主義や社会主義などの経済的な知識を把握する。	定期考査 まとめレポート

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。